

〈事務部門〉

- ・事務部門
- ・管理課
- ・医事課

事務部門

1 事務長・事務次長紹介

事務長 小泉 俊也
事務次長 小佐野 五郎

管理課

1 課長紹介

管理課長 田辺 郁也

2 部署別職員数

- ・課長 1 名
- ・総務担当 7 名（うち会計年度 4 人）
- ・財務担当 4 名
- ・施設担当 3 名
- ・システム管理担当 3 名 計 18 名

3 令和 5 年度総括

●総務担当

総務担当では、職員の採用、人事、給与、庶務一般、福利厚生などの業務に従事しています。

《令和 5 年度における主な業務内容》

- (1) 職員の採用・人事等に関する業務
医師や看護師など病院職員の採用、退職、異動、休暇などに関する一連の人事に関する業務を行いました。
- (2) 給与等の支給業務
病院職員の給与・手当等について、毎月、提出された資料等を基に給与計算を行い、給与を滞りなく支給しました。
- (3) 福利厚生に関する業務
共済組合の加入・脱退や公務災害の申請、市職員厚生組合における事業の紹介・斡旋など職員の福利厚生につながる業務を行いました。
- (4) その他総務全般に関する業務
その他総務全般に関する業務について、職員の働きやすい職場づくりや利便性の向上等につながる業務を行いました。

●財務担当

財務担当では、会計経理、経営分析、医療機器・薬品・診療材料等の契約・管理などの業務に従事しています。

《令和 5 年度における主な業務内容》

- (1) 令和 4 年度決算の調製、令和 6 年度予算の編成
関係法令に基づき、決算調製及び予算編成を行い、議会の認定及び議決を得ました。
- (2) 公立病院経営強化プランの策定
令和 4 年 3 月に総務省から示された「持続可能な地域医療提供体制を確保するための公立病院経営強化ガイドライン」に基づき、「富士吉田市立病院経営強化プラン」を策定しました。
- (3) 医療機器等の導入、更新手続
医療機器等購入選定委員会において導入・更新が決定された機器等について、補助金等の財源確保を図りながら、導入、更新手続を進めました。
- (4) 医薬品、診療材料等のコスト削減への取組
院内各種委員会や薬価交渉を通して、医薬品、診療材料等の納入先、採用品目、価格等について検証を行い、コスト削減を図りました。

●施設担当

施設担当では、施設・設備の維持管理、警備・保安業務、院内保育室の運営などの業務に従事しています。

《令和 5 年度における主な業務内容》

- (1) 施設・設備の更新整備
ボイラーやエアシュータの更新、その他経年劣化等による院内の施設・設備の更新整備を行いました。
- (2) 2 階南面の整備事業の実施
旧レストラン「あかげら」跡地への内視鏡センターの設置や、1 階への健診センターの移設整備を行いました。
- (3) 院内保育室の運営委託
働きやすい職場環境の整備の一環として、院内保育室「にじいろ」をニチイ学館により運営委託しました。
- (4) 施設総合管理委託による警備・保安業務等

N T T ファシリティーズにより病院内の警備や保安業務等の総合管理委託を行いました。

(5) その他院内の維持管理に伴う業務

感染性廃棄物の委託業務や電話交換業務、外来・病棟清掃業務等、病院運営を行うために必要な業務を委託により行いました。

●システム管理担当

システム管理担当では、医療情報システムの管理・運営、電子情報のセキュリティ管理などの業務に従事しています。

《令和5年度における主な業務内容》

(1) 医療情報システム及び事務処理用システムの管理運営

日々の業務で使用するシステム・端末・プリンタなどの不具合対応、更新対応など行いました。

(2) 勤怠管理システムの導入検討

医師の働き方改革に対応するため、勤怠管理システムの導入検討を行いました。導入は令和6年度を予定。

(3) 病院内の施設設備工事に伴うシステム対応

病院内の外来ブース、内視鏡センター稼働などに伴い、システム更新、設定変更に対応しました。

(4) 災害医療に関わるシステムの開発

災害医療委員会からの依頼で、災害が発生した際に使用出来るシステムの開発を行いました。

(5) 遠隔手術指導システムの導入

山梨大学医学部附属病院と連携し、遠隔手術指導システムの導入を行いました。

4 令和6年度活動目標

●総務担当

- (1) 医師や看護師など病院職員の採用、退職、異動、休暇などに関する一連の人事に関する業務について、業務改善等を図りながら円滑な業務遂行に取り組みます。
- (2) 病院職員の給与・手当等について、毎月、提出された資料等を基に給与計算を行い、給与を滞りなく支給します。
- (3) 共済組合の加入・脱退や公務災害の申請、市職員厚生組合における事業の紹介・斡旋など、職員の福利厚生につながる業務について今後も取り組みます。
- (4) その他総務全般に関する業務について、職員の働きやすい職場づくりや利便性の向上等につながる業務について今後も取り組みます。

●財務担当

- (1) 持続可能な形で地域医療を提供し続けていくため、今後必要となる医療機器の更新費用を見積もるとともに、関係科と連携して費用の平準化や機器の集約等について検討を進めます。
- (2) ベンチマークシステムを活用して、医薬品、診療材料等の更なるコスト削減に取り組みます。
- (3) 昨今の光熱費や材料費等の高騰など病院経営を取り巻く状況が依然として厳しいことから、「経営企画会議」や「院内幹部会議」において経営判断に資する情報を的確に提供できるよう努めます。

●施設担当

- (1) エアシュータの更新（2期工事）、ファンフィルターユニット更新工事、その他経年劣化等による院内の施設・設備の更新整備を行い、持続可能な病院運営を行っていきます。
- (2) 旧レストラン「あかげら」跡地の整備を発端とした一連の工事の最後として、透析室改修工事を実施します。
- (3) 働きやすい職場環境の整備の一環として運営している院内保育室「にじいろ」をプロポーザル方式により業者選定を行い、引き続き安定した運営委託を行っていきます。
- (4) 感染性廃棄物の委託業務や電話交換業務、外来・病棟清掃業務等、病院運営を行うために必要な業務を委託により行っていきます。

●システム管理担当

- (1) 医療従事者が日々の業務を安定して行えるよう、安定稼働できるシステムの運営に努めます。
- (2) 情報セキュリティリスクに対しては、情報システムBCPの策定を進め、セキュリティリスクに対して積極的な情報収集、対策に努めます。

医事課

1 課長紹介

医事課長 高山 倉人

2 部署別職員数

- ・課長 1 名
- ・医事課事務室 9 人（うち会計年度 1 人）
- ・健診センター 3 人
- ・病棟 6 人（うち会計年度 5 人）
- ・病院企画室 2 人（うち会計年度 1 人） 計 21 名

3 令和 5 年度総括

新型コロナウイルス感染症が感染症法の 5 類に移行したが、令和 5 年度の延べ入院患者数は 77,380 人、前年度の延べ入院患者数は 71,098 人で、6,282 人の増、約 9 ポイント増加した。新型コロナウイルス感染症の影響がほぼなかった令和元年度との延べ入院患者数の比較では 4,831 人の減（R1、82,211 人）となった。

また、令和 5 年度の延べ外来患者数は 150,779 人で、令和 4 年度 153,505 人と比べると 2,726 人の減、1.8 ポイント減少した。新型コロナウイルス感染症の影響がほぼなかった令和元年度 157,368 人と比べると 6,589 人の減となっており、依然としてコロナ前の平時とは言えない状況が続いている。

4 令和 6 年度活動目標

令和 6 年 6 月の診療報酬改定に際し、情報収集、以降発出される疑義解釈の対応など集中的に対応を進める。また、加算対応について、スタッフ一体となり安定した診療報酬が確保できるよう様々な医事データの提供や課題の整理を行うとともに、さらなる収益向上の取組を継続する。